

ひとズームアップ とやま×関西圏

P-734-1

第一学院高等学校富山キャンパス長

坂上 智規氏 (兵庫県宍粟市出身)

一人一人の目標に寄り添う

富山市新桜町の通信制高校、第一学院でキャンパス長を務める。生徒に授業や生活指導を行う傍ら、教員が指導をしやすい環境づくりにも力を入れる。

「面談を重ねて指導に対する不安を取り除き、自分らしく生徒と向き合えるよう取り組んでいる」と話す。

同学院では、生徒が教員と相談し、登校日や時間割など自分に合ったスケジュールを決めることができる。教員は生徒一人一人の目標に寄り添った学習支援を行っている。

進学を目指す生徒には、合格



に向けた学習計画を立て、面接練習も手伝う。就職を考える生徒には、多様な分野で活躍する

さかうえ・としき 神戸学院大学法学部卒。第一学院富山キャンパス長を務める。2017年に入社し、新潟キャンパスで2年間教員として勤務。今年4月から現職。趣味はドライブ。富山市在住。25歳。

人を講師として招き、特別授業を実施している。

県人として世界最高峰のエベレストの登頂に初成功した立山ガイド、佐伯知彦さんを講師に迎えたこともある。幅広い視野や価値観に触れてもらうことが目的という。

大学時代は漠然と金融業界への就職を考えていたと話す。内定をもらった後で、後輩の就職活動の相談に乗る中で本当に自

分がやりたいことを見つめ直した。

「後輩から『相談したおかげで就職への悩みがすっかりしました』と笑顔で言われ、他人のキャリアについて考えることが本当にやりたいことだと意識した」と振り返る。内定を辞退し、キャリア教育に力を入れる同学院に就職する決意を固めた。

同学院には、以前通っていた学校で不登校になるなど、自信を失った状態で入学する生徒が多いという。

「生徒が自信を取り戻して意欲的に学ぶ姿や、希望を持って社会に羽ばたいていく姿を見た瞬間は、何とも言えない達成感に包まれます」と笑みをこぼす。